

刊今 警城時報

編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 警城時報社
一部金貳錢 一月金貳拾錢
廣告料 一行十二字五錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

湯本温泉復活の 訴訟事件解決 法廷和解成る

湯本町湯泉復活計画に於いて結果各業者も激戦三日
では地元の如く坑口開墾地間ではあるが相當戦ひ疲れ
漸の地主比佐理平氏と石川
町長の間に紛争を醸し訴訟
沙汰となつてゐたが、二十
九日平區裁判所に於て法廷
和解の結果町當局は比佐氏
から所要土地を相當價格で
買収する事となり圓滿解決
を見た。

平湯本間 自動車紛争

激烈なる賃金下げ競争を演
じてゐる平湯本間の乗合
自動車の乗客争奪戦は此の
儘放置しては事態を悪ため
合併会社組織にする話
化するばかりであるので平
湯でも捨て置き廿九日五組
業者を招致妥協を勧告しに
なつた。

米價の向上で 勞銀値上げの叫び

白米一升遂に三十五錢とな
り勞働街は大異變を呈する
に至つた。田植その他農家
の手間賃は比較的高價、炭
業や夏井川改修工事就勞な
礦界は好景氣のため左程で
ないが、平町内の如き町
に至つた。田植その他農家
の手間賃は比較的高價、炭
業や夏井川改修工事就勞な
礦界は好景氣のため左程で
ないが、平町内の如き町

赤井村 乘氣になる

既報一平町が市制施行を條
件として平窪村を合併する
事は平窪村で大体に於て承
認し實現は時期の問題とな
つてゐるが、飯野村、神谷
村、内郷村の三村は合併の
可能性に乏しいので赤井村
に交渉する事となり一日青
沼町長、井上、野崎正副部
長、萩原、關内、坂本の各
部長が赤井村に出張縦々交
渉した結果合併に乘氣にな
る事になつた。

恐喝事件の公判 空前の傍聽人

平町研町山田政好 四五が求
刑された石城郡内郷村瀧
桃色遊戯の噂を生んだ平町
長橋町住職安戸正勝(九)の
殺人事件は三十日平湯
同町山下庄一未亡人宮崎千
代子兩氏を恐喝し前後數回
に亘つて金を取つた事件を
第三回公判は一日午前九時
から平町區裁判所で開き證
入として宮戸、宮崎兩氏の
外遠藤藤藏氏が出廷したが
判事の問ひに對しては被告
山田と殆ど反對の陳述をな
した、この日傍聽人約二百
名押し寄せ公廷の外内に溢
れてゐた。

主人に虐待された 女中毒をのむ

内郷村宮宇峯根安原大造方
女中双葉郡大野村生れ石田
静枝(十九)は去月二十七日
午前七時頃自宅で白髪染め
かやなぎを嚙み自殺を圖つ
たが應急手當を加へ一命は
取り止めた、原因は日頃主人
に注意されてゐた事を虐待
たが養家家の出廻りが遅れ

執行猶豫 貫ひ子兒殺し

貴ひ子兒殺し
執行猶豫
貫ひ子兒殺し
執行猶豫

自動車で轢いて 罰金八十圓

既報一去る二月十六日午前
十一時頃内郷村大字稻字七
反田地内國道に於てトラッ
クを運轉疾走中折から通り
合はした同村野菜行商人花
見幸八(四九)さんを轢倒重
傷を與へ死亡せしめた平町
植田町將棋同好會では来る
十二月二日に開催
同町鮫川誇揚會事務所に將
棋大會を開くが、菊多方部
最初の試みだけに多大の興
味をそゝり盛會を豫想され
てゐる。十等まで賞品を授
與する。

久の濱港 改修陳情

双葉郡久の濱町新築漁業組
合長佐々木同理事、村岡助
役は二十九日出陣山田六郎
縣議と共に伊藤知事、出石
總務部長を訪れ未完成にあ
る久の濱港を臨時縣會提
案の東北振興事業豫算中の
漁港船溜修築費を以て改修
せられたこと、並に久の
濱港を縣費支辨港灣に編
入せられたことについて
陳情するところあつた。

室井巡査 けふ急逝

平警察署高等係特務室井末
明二七 巡査は四日前から
痲疹を病み静養中であつた
が一日午前七時死亡した。
氏死後木縣那須郡生れ發病
當日結婚式を挙げたばかり
りの人である。

寄食中 盗んで逃げる

既報一平町松ヶ岡公園の時
がりを徘徊中平署菊地部長
に舉動不審で引致された湯
本町水野谷生れ強盜前科
六犯馬止量平(四〇)は僅十
八の時から殆ど牢獄生活を
續けて去月二十四日千葉刑
務所を出獄した強者で、
取調の結果東京の某旅館で
合つた富山縣生れの印刷職
工本田正雄と麴町區一丁目
桑原方に世話になつてゐる

植田將棋大會 十二日に開催

同町鮫川誇揚會事務所に將
棋大會を開くが、菊多方部
最初の試みだけに多大の興
味をそゝり盛會を豫想され
てゐる。十等まで賞品を授
與する。

舞踊會決算報告

舞踊會決算報告
一金七百五十四圓五十錢
也出演者負荷金、一金壹
千五百貳拾五圓也會員券
代、一金八圓五十圓也祝
儀金、一金拾貳圓四十錢
也雜收入金、計金貳千三
百七十六圓九十錢也總收
入金、內金貳千九百壹圓
六錢也總支出金
差引金五百貳十四圓十六
錢不足金
右外金五十圓也平料理店
組合負擔、同金四百七十
四圓十六錢平藝妓屋組合
負擔引殘高ナシ
右の通り
花柳舞踊後援會
支出金內譯
一金貳千九百〇壹圓〇六
錢總支出金
內譯 金七十圓也平町助
成會へ寄附金、金三十圓
也縣刑事協會へ同上、金
八十圓七十五錢印刷費、
金六十圓三十六錢聚樂館
支拂、金百六十圓四十四
錢處作舞臺新設、金廿七
圓六十五錢電氣裝置料、
金四十四圓六十五錢汽車
賃及自動車賃、金百六十
圓六十錢住吉屋支店宿
泊及茶代、金廿三圓十錢
豆ウチワ代、金三圓四十
七錢筆墨紙代、金九圓廿
十三錢茶、茶菓子、茶器

うち去る七日本田の衣類其
他價格五十圓と現金十五圓
をテロロマカして郷里に舞
戻つたものと判明した。

優秀を誇る流行の海軍服...
お氣になすまで豊富に取揃!
パラソル
中野洋品店
平二・電五三

コンポーク
塩豚
平町田町
三三三三屋
電話三三三三番

金壹圓二十九錢通信費、
金二十三圓五十五錢訪問
手土産、金四圓五十錢レ
コード代、金二十一圓十
九錢舞踊小物代、金二十
三圓也人夫料、金八十圓
也顔師連中拂、金貳百二
十八圓五十錢鳴物師連中
拂、金三百七十一圓三十
錢清元連中拂、金貳百三
圓十錢カツラ師連中拂、
金三百五十九圓也大小道
具師連中拂、金四百三十
八圓也衣裳師連中拂、金
八十五圓壹錢也中食夜食
費、金二十貳圓貳十錢樂
屋諸掛り、金參百五十三
圓也諸謝禮金、金貳十圓
十七錢雜費、
計金貳千九百壹圓〇六錢

七月一日ヨリ七日間

三井吳服店の夏衣大賣出し

涼味溢る、夏の御召物、京呉服、ジヨゼット、中形、全店夏の商品豊富大特賣

- ◎ 獨特のおつとめ品
- 本染モスリン着尺 金貳圓五拾銭
- ハラマウント着尺 金貳圓五拾銭
- 絹男羽織 金貳圓五拾銭
- 手拭浴衣地 金七拾銭
- 名古屋帯(仕立上) 金壹圓
- 名古屋帯(仕立上) 金參拾銭
- 絹丸 金參拾銭
- 絹小紋 金六圓五拾銭
- 絹ボート(仕立上) 金壹圓五拾銭
- 夏掛フトン(仕立上) 金壹圓五拾銭

御中元贈答用品大奉仕
御格恰な御値段の商品が豊富に入荷致しました
如何様にも承ります
婦人俱樂部總額壹萬圓大懸賞つき
千代きぬ 明石 大賣出し
本染中形陳列會

御贈答に御重寶な商品券

雑貨洋品部新設
御子様方のパンツ・タオル製品・既製品
服地などの新製品豊富に取揃へ大奉仕!
かや大賣出し
ほろかや綿、本麻かや、白かやの別選品を
大々的廉賣致します



三井吳服店
電話三八・二八四番

北川外科

内科一般 レントゲン科
外科一般
平町新川町(諸橋醫院跡)
醫學博士 北川芳夫
小林良次
電話四六四番

夏の御飲み物類 開始

- アイスクリーム
- アツキアイス
- ミルクセーキ
- 別みづ豆
- ソーダ水 色々
- 特製氷たた福豆
- ほごよく香のよい宇治名産氷挽茶
- 御土産にクリームモナカ

魚清食堂

電話六三三番

御旅行に

素晴らしい乗心地の!
三五年式流線型新車を!!
是非御利用御用命の程を御願申します

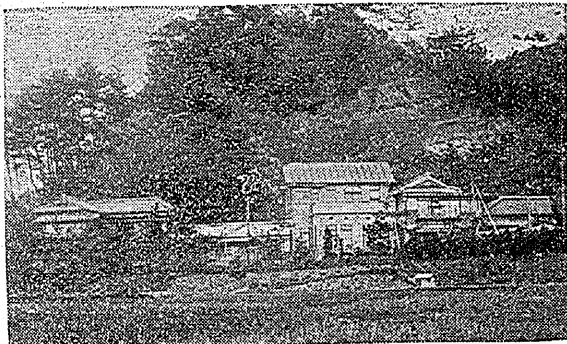
三井タクシー
電話六五八番

御禮

今般第二回演藝大會開催に當り各位の絶大なる御後援を得まして盛會裡に終りを告げたる段厚く御禮申上候
尙多大の御祝儀等頂戴仕り候儀之れ
又御厚意の段深謝の至りに御座候
御尊名御記入無之方も有之候にき付
以紙上御厚禮申述候 敬具
七月一日

花柳 徳三郎
杵屋 十代
出演藝妓 一同
平藝妓屋 組合
平料理店 組合
後援會

サービス自動車...
団体廿人以上にはお迎いの
自動車を上上げます。
(北は平町、南は植田町まで)



御宴會

毎度格別の御最盛いたゞき難有く御禮申上げます。
愈々御宴會季節と成りましたので、御宴會の御下命賜り度く
団体様には御徳用な下記弊館御宴會規定を精々御利用下され度
御願申上げます。

- 松印 3.50 御會席七品付(外果物、御飯香物) 共一式
藝妓花代、御酒、入浴料、サービス料
- 竹印 3.00 御會席六品付(外果物、御飯香物) 共一式
藝妓花代、御酒、入浴料、サービス料
- 梅印 2.50 御會席五品付(外果物、御飯香物) 共一式
藝妓花代、御酒、入浴料、サービス料

但十人以上ノコト。藝妓ハ五人様毎ニ一人二時間。(松印=限リ半五十人様=一人付)御酒ハ御一人酌酒二本ヅ、ノコト

◎お申込みは時節柄なるべく至急下記へ
お問合せは 電話(小名濱)103番
通話料は弊館にて負擔いたします。

小瀧鑛泉 瀧乃湯旅館
電話103割烹部

氷會社の冷蔵函

日本ドライアイス株式會社が永年の經驗に加ふるに低温に關する蓄蓄を傾けて製作したもので徹底せる冷蔵理論に基き材料を厳選、工作上に注意した理想的の冷蔵函です。

定 家庭用 十七圓より四十五圓迄 各種
價 營業用 七十五圓より百五十圓迄 各種
御申込次第社員參上します。

平製氷株式會社
電話 二二八番
三一六番

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫學士 鈴木正男
平町田町藤田女學校前
(電話五八番)

第四期營業報告

資 產 借 入 表
株主勘定 七五〇、四〇〇
未拂込資本 七五〇、四〇〇
固定資産 一、三六、八七四・九二
營業設備 一、〇六、〇七二
配電設備 一、三六、八七四・九二
流動資産 五、四五五・八〇
貯蓄品 一、八三三・五八
事業未收入金 一、二〇四・二七
諸未收入金 一、二〇四・二七
有價証券 一、〇九三・〇三
貸付金 五、四六六・六六
現金 一、〇九三・〇三
預り金 八、九三三・三三
現金 一、〇九三・〇三
前拂金 四、八四四・七六
仮受有價証券 四、九〇〇・五八
合 計 一、七五三・二〇
負債(貸方)
株主勘定 一、〇〇〇、〇〇〇
法定積立金 一、〇〇〇、〇〇〇
合 計 二、〇〇〇、〇〇〇

大蔵省免許

平電力株式會社

昭和三十五年六月

福島縣石城郡平町字田六拾番地

平電力株式會社

減損積立金 一、〇〇〇、〇〇〇
慰恤基金 一、〇〇〇、〇〇〇
短期負債 一、〇〇〇、〇〇〇
買掛金 一、〇〇〇、〇〇〇
未拂配當金 一、〇〇〇、〇〇〇
短期借入金 一、〇〇〇、〇〇〇
支拂手形金 一、〇〇〇、〇〇〇
從社員預り金 一、〇〇〇、〇〇〇
神戶會社預り金 一、〇〇〇、〇〇〇
共濟會預り金 一、〇〇〇、〇〇〇
雜勘定 一、〇〇〇、〇〇〇
借入金 一、〇〇〇、〇〇〇
借入金有價証券 一、〇〇〇、〇〇〇
前借入金 一、〇〇〇、〇〇〇
前期繰越利益 一、〇〇〇、〇〇〇
前期純利益 一、〇〇〇、〇〇〇
合 計 一、〇〇〇、〇〇〇